

○水生生物モニタリング調査結果一覧（はやま湖G）

<はやま湖G 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
G-1	○	○	○	○	○	○
G-2	○	○	○	—	○	—

<はやま湖G 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (°C)	泥温 (°C)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)		
G-1 (表層)	37.7348°	140.8102°	R1. 8. 30	11:50	12:45	25.7	14.1	砂泥	7.5Y 3/2	植物片	2.9	2.3		
G-1 (下層)						25.2								
G-2	37.7267°	140.8223°		09:10	10:35	25.8	19.3	泥	7.5Y 3/2	植物片	9.0	3.5		

<はやま湖G 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
G-1 (表層)	37.7348°	140.8102°	R1. 8. 30	11:50	8.4	1.5	5.0	9.7	7.5	0.04	2.0	2	2.0	0.0015	0.025	—
G-1 (下層)					7.8	1.3	4.9	8.4	7.8	0.04	1.9	2	2.1	N.D. (0.0014)	0.026	0.0012
G-2 (表層)	37.7267°	140.8223°		09:10	8.4	1.4	4.9	8.9	7.7	0.04	2.4	2	2.0	0.0013	0.015	—

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<はやま湖G 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
G-1	37.7348°	140.8102°	R1. 8. 30	12:45	7.3	370	23.8	2.8	3.7	2.691	15.9	27.1	37.4	14.8	1.9	2.9	0.67	19	27	420	1.6
G-2	37.7267°	140.8223°		10:35	7.5	117	58.3	12.0	35.8	2.543	0.0	0.0	0.1	4.6	66.9	28.4	0.017	4.8	200	2900	—

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<はやま湖G 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
G-1 G-2 G-3	湖内	37.7348° 37.7267° 37.7302°	140.8102° 140.8223° 140.8307°	R1. 8. 30	藻類・植物	—	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	—	0.010	—	—	—	N.D.	N.D. (2.8)	N.D. (2.7)	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	1	0.21	成魚	空胃	内臓除去	138.2	8.2	130	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	3	0.0060	未成魚	—	—	28	N.D. (7.2)	28	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	トシヨウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	トシヨウ	1	0.010	成魚	—	—	16	N.D. (3.2)	16	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	カンフイッシュ	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	2	1.5	成魚	ブルーギル、ウシガエル幼生	内臓除去	151	11	140	0.80	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	カンフイッシュ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル	8	0.28	未成魚	植物片	内臓除去	25.5	1.5	24	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	カンフイッシュ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル	4	0.23	未成魚/成魚	植物片	内臓除去	30.9	1.9	29	—	
					脊椎動物	硬骨魚	ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	2	2.6	成魚	魚類	内臓除去	298	18	280	0.46	
	脊椎動物	両生	無尾	アリカガカエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	ウシガエル	21	0.036	幼生 (オキナシ)	—	—	431	31	400	—					
G-4	流入河川	37.7382°	140.8035°	R1. 8. 21	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.0054	—	—	—	301	21	280	—	
					節足動物	昆虫	カゲロウ	チラカゲロウ	<i>Isonychia valida</i>	チラカゲロウ	477	0.018	幼虫	—	—	131	11	120	—	
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	15	0.0088	幼虫	—	—	27	N.D. (4.5)	27	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Phoxinus lagowskii steindachneri</i>	アブラハヤ	6	0.031	未成魚/成魚	—	—	17	N.D. (5.8)	17	—	
				R1. 8. 30	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	2	0.021	未成魚	—	—	20	N.D. (1.8)	20	—	
				R1. 8. 21	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	152	1.5	未成魚/成魚	—	—	19.6	1.6	18	0.30	
				R1. 8. 30	脊椎動物	硬骨魚	サケ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ	8	0.091	未成魚	—	—	49.6	2.6	47	—	
				R1. 8. 21	脊椎動物	硬骨魚	サケ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ	32	1.1	未成魚/成魚	—	—	47.7	2.7	45	0.37	
				R1. 8. 30	脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou</i>	ヤマメ	26	0.26	未成魚	—	—	17.3	1.3	16	—	
				R1. 8. 21	脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou</i>	ヤマメ	65	0.46	未成魚	砂粒、植物片、陸上昆虫類、アリ類、カクレヒメ科幼虫、シマトビケラ科幼虫、チカケロウ幼虫、マダラカケロウ科幼虫、シマアメンボ	内臓除去	19.96	0.96	19	—	
	脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius flumineus</i>	カワヨシノボリ	22	0.053	未成魚	—	—	20	N.D. (4.5)	20	—					
	脊椎動物	硬骨魚	ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	2	2.5	成魚	魚類	内臓除去	138.7	8.7	130	0.57					
	粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.23	—	—	—	70.2	5.2	65	—		

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40 μ mのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。